

## ◎青少年健全育成会

健全育成会では、「空き缶回収キャンペーン」で地区の美化作業、小・中学校PTAと合同での夜間パトロールの実施、のびのび少年デーでのゲーム大会などを行っています。

また、1月7日の「鬼火だき」では、多くの小中学生や地域の方々が集まって、無病息災を願います。

「広田ふるさと祭り」では、もちつきコーナーを担当し、家庭・学校・地域が一体となった活動を行っています。



## 5 広田地区福祉対策推進協議会の紹介

### どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

広田地区福対協は平成8年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

### どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、公民館、婦人部、老人クラブ、小・中学校など、幅広い団体の代表で構成されています。

### 主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

#### ★ふれあいネットワーク★

ひとり暮らしの高齢者などが、地域で安心して暮らせるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

#### ★その他にも…★

子どもの登下校の見守りや通学合宿への協力、高齢者と子ども達のふれあい会の実施など、地域の皆さんや各団体と連携しながら活動しています。



これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

## 6 広田地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

### “お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい広田のまちにするために、地域の皆さんが、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

### 第1回

#### テーマ 地域のことを見つめ直そう!

～地域について考えるきっかけづくり～

日 程：平成18年10月14日(土)

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは広田地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う広田地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



#### よかところ

- 買い物が近くで出来て住みやすい
- 子どもの遊べる施設が充実している
- 自然が多く、緑がいっぱい

#### 気になるところ

- 街灯が少なく子どもが心配
- 交通量が多い(騒音・スピードなど)
- バスの便が悪い

### 皆さんも広田地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう!

**問1** 広田地区を流れる「小森川」は、三川内の横手町を源流として、支流には下の原ダムのある鷹巣川、三川内地区の江永川や新行江川などがあります。では、この小森川の長さはどれくらいあるでしょうか?

- ① 約5,500m    ② 約7,600m    ③ 約9,800m

**問2** 皆さんが住んでいる広田地区の高齢化率はどれくらいでしょうか?(平成19年2月時点)

- ① 14.7%    ② 16.2%    ③ 17.4%

**問3** 広田地区にある広田小学校には、今から30年以上前の昭和46年には、何人の小学生がいたでしょうか?

- ① 403人    ② 592人    ③ 895人

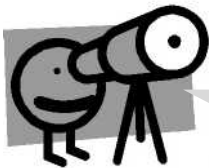
※答えはP8の下にあります。



## 第2回

テーマ 地域みんなにできることを探そう!  
～小さなことでも地域のために～

- 日程：平成18年11月11日(土)
- 内容：●グループ対抗発想ゲーム  
●気になり具合診断  
●みんなにできることを探そう



第2回もまずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。  
さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。  
グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。  
※出された意見の中からいくつかご紹介します

### 問題

ごみのポイ捨てをする人がいる

### “みんなにできること”の意見

- 「ごみを捨てないで」という立て札を立てる
- 公園にはごみ箱を置かない方がいい
- 捨てているところを見たら注意する

### ◆参加した皆さんの感想から◆

- ◎いろいろな方々と話し合うことで、自分が住んでいる地域に様々な問題があることや、気づかなかった利点が身近に存在していたことがわかりました。
- ◎これからも自治会、あるいは班単位などで“お茶の間トーク”のような時間を持って、地域のことについて考えてみたいと思いました。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。

まずは、**広田地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考えて取り組むことが大切です。**



この“お茶の間トーク”での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう!